

人口動態総覧

	実 数			率 注(1)	
	令和元年	平成30年	対前年増減	令和元年	平成30年
出 生	12,741	13,248	△ 507	6.5	6.7
男	6,572	6,744	△ 172	3.3	3.4
女	6,169	6,504	△ 335	3.1	3.3
死 亡	19,778	19,343	435	10.0	9.8
男	9,916	9,925	△ 9	10.8	10.8
女	9,862	9,418	444	9.4	9.0
(再 掲)			0		
乳児死亡	27	34	△ 7	2.1	2.6
新生児死亡	11	20	△ 9	0.9	1.5
自 然 増 加	△ 7,037	△ 6,095	△ 942	△ 3.6	△ 3.1
死 産	361	346	15	27.6	25.5
自然死産	162	138	24	12.4	10.2
人工死産	199	208	△ 9	15.2	15.3
周 産 期 死 亡	51	47	4	4.0	3.5
妊娠満22週 以後の死産	41	32	9	3.2	2.4
早期新生児死亡	10	15	△ 5	0.8	1.1
婚 姻	10,117	9,878	239	5.1	5.0
離 婚	3,845	4,024	△ 179	1.95	2.05

合計特殊出生率 注(2)	令和元年	平成30年
		1.12
	(1.36)	(1.42)

年齢調整死亡率 注(3)	令和元年	平成30年
男	4.6	4.8
	(4.6)	(4.6)
女	2.5	2.5
	(2.4)	(2.5)

()内は全国の数

注:(1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。令和元年10月1日現在の推計人口の値を用いて算出。

(2) 全国の率は厚生労働省政策統括官集計の人口動態統計(確定数)による。

率算出に用いた女性人口は、令和元年10月1日住民基本台帳(日本人)の値。母の年齢が14歳以下での出生児は母年齢15～19歳の階層の出生数に含め、分母となる女性人口は、年齢毎の算出数のままとしている(厚生労働省合計特殊出生率に準じる)。出生の実数には、母の年齢不詳を含むが、合計特殊出生率の算出に用いた出生数には母の年齢不詳は含まない。

(3) 率算出に用いた人口は、令和元年10月1日現在の住民基本台帳の値を用いて算出。